



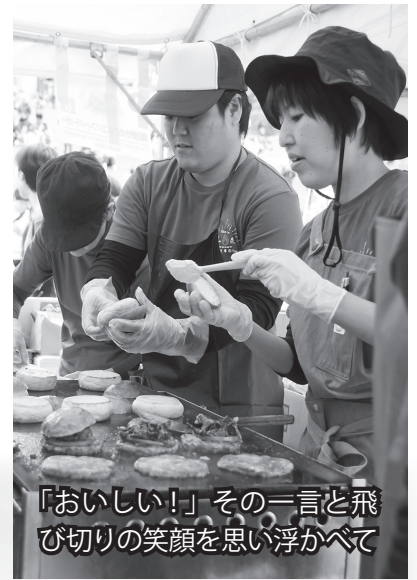
制限がかかるほど、きのこバーガーを求めて長蛇の列ができる



肉汁たっぷり。食欲そそる



笑顔で応対、シイタケになりきりPR大作戦!



「おいしい!」その一言と飛び切りの笑顔を思い浮かべて

全国4位入賞!

魅せた! 奥日野きのこのこの底力

とっとりバーガーフェスタ2016

10月9日と10日の2日間、大山町大山寺博労座駐車場で、「とっとりバーガーフェスタ2016・全国ご当地バーガーグランプリ」が行われ、廣瀬俊介さん(黒坂)と米子市のハンバーガーショップ「BUBNOVA(小野寺由香代表)」が共同で出品した「奥日野きのこのコンフィバーガー」が、全国4位入賞を果たしました。

きのこバーガーは、廣瀬さんの栽培した原木シイタケをはじめ、県内産の素材を多く使用。8月に行われた県大会を1位で通過し、悲願の日本一を目指していました。惜しくも優勝は逃してしまいましたが、参加者による一般投票数は出展バーガーの中で一番多く、その味が高く評価されました。今後の活躍に期待が高まります。

全国大会で約千個の温かい本格きのこバーガーを提供でき、うれしく思います。これが、千の感動、千の原木シイタケファン、そして千人の日野町ファンにつながることを願い、今後更頑張っていきます。

今大会中、応援していただいた皆さん、本当にありがとうございました。

廣瀬さんと小野寺さんからお礼の言葉

原木シイタケ生産農家
廣瀬 俊介さん(黒坂)

今回のバーガーフェスタに向け、このバーガーが町の特産品の一つになれるよう、多くの皆さんに協力していただきました。皆さんには、さまざまなアイデアを出していただき、「つながる」ということを実感できた大会でした。

バーガーショップ BUBNOVA
代表 小野寺 由香さん(米子市)

ザ バーガー スタンド ブブノワ
● THE BURGER STAND BUBNOVA 奥日野金持店
営業時間: 毎週土曜日・日曜日、午前11時から午後2時
※イベント時は休みます。
(米子本店) 月・火・水・金曜日の平日午前10時から午後4時
※販売個数に限りがあり、売り切れ次第終了となります。
場所: 金持神社札所(売店)横テント内
電話: 0859-21-7034 (米子本店)



初秋の出雲街道根雨宿で健脚競う

日野町駅伝競走大会



大きな声援を受けながら一斉にスタート



ゴールまであと少し、最後の力をふりしぼる

10月15日、第57回体力づくり日野町駅伝競走大会が、役場から根雨1区までの折り返しコースで開かれました。

当日は、役場から根雨3区を折り返す（1キ）小学生ミニマラソン低学年の部に17人、役場から根雨1区を折り返す（1・8キ）小学生高学年の部に24人が出場。駅伝の部には、地域や事業所などから18チーム、中学生から13チーム、高校生から4チームが出場し、健脚を競いました。

参加者が昨年を大きく上回った今大会。さわやかな青空が広がる絶好の駅伝日和の中、選手らは沿道から送られる声援を受けながら、ゴールを目指し駆け抜けていきました。

【結果】※優勝者・チームのみ

▼ミニマラソン

（小学生低学年の部・1キ）

男子Ⅱ荒木秀司さん（4分15秒）

女子Ⅱ伊田あいさん（4分53秒）

（小学生高学年の部・1・8キ）

男子Ⅱ野田柚月さん（6分47秒）

女子Ⅱ頭本花蓮さん（8分18秒）

▼駅伝（1チーム3人・1人2キ）

一般の部Ⅱ江府消防署A

高校生の部Ⅱ日野高校野球部C

中学生の部Ⅱ日野中野球部A

いつまでも安心して暮らすために

日野町健康講座



身振り手振りでロコモ予防の大切さを訴える萩野さん

科教授の萩野浩さんが、「骨粗しょう症とその予防・治療について」と題し、講演を行いました。「骨粗しょう症が進むと骨折しやすく、寝たきりになる大きな原因の一つ。予防には、食事と運動が大切」と萩野さんは、骨を丈夫にするカルシウムを多く含む乳製品やゴマ、ビタミンDを多く含む干しシイタケや魚類を摂取することや、家の片づけなどの小まめな運動が一番の予防の近道になると来場者に訴えました。

次に、鳥取大学医学部付属病院リハビリテーション部の松本浩美さんが、日野町ロコモ健診結果を報告。松本さんは「ロコモ健診を始めた3年間で、体脂肪や骨量は維持しているが、骨格筋量の低下が顕著」と分析し、『適度な運動と栄養をとることと、毎年ロコモ健診を受診し、意識を変えていくことが重要』と話しました。

町では、平成26年度から鳥取大学医学部による「足腰いきいき！ロコモ健診」が行われています。この健診は、町の特健診と後期高齢者健診受診者を対象に、筋肉や骨量、歩行状態の調査を行い、調査結果を町の健康づくりに生かしたり、受診者に自分自身の介護予防に役立ててもらうことを目的としています。

9月26日、山村開発センターで、平成28年度日野町健康講座が開かれ、鳥取大学医学部の医師らが、今年度のロコモ健診の結果やこれまでの調査結果などを報告しました。

はじめに、鳥取大学医学部看護学

講演後は、日野病院訪問看護ステーションの田中武志さんの指導で、ロコモ予防体操を来場者全員で実践しました。田中さんは「短い時間、回数で、自分の体に合った無理のない体操を継続していくことが大切です」と話し、来場者は時折うなずきながらロコモ予防の大切さを実感した様子でした。